

イベント

1月、地球環境とエネルギーについて学ぶ。 子どもと保護者合わせて42人参加

1月6日(土)、ジオパーク学習センターを会場にジオパーク冬休みわくわく教室が開催されました。今回のテーマは「音楽が流れるソーラーハウスを作ろう」。子どもと保護者合わせて42人が参加し、子どもたちに人気の教室となりました。工程が複雑で、できるまで1時間以上かかりましたが、全員が音楽が流れるソーラーハウスを完成させました。その後、SDGsや青空のできかた、人が見えない光、雷の光と音などについて実験などを通して学びました。



学校教育支援

センターで学習した後、野外観察へ 安田海岸で地層観察、寒風山で火山地形観察

ジオパーク学習センターに来館する学校教育関連の団体は、年に20校から30校ほど。多くは理科や社会、総合的な学習、防災学習などを目的に来館し、センターで男鹿半島のできかたや地層の見方などについて岩石標本観察や火山噴火実験、液状化現象実験などと併せて学習し、その後、学習センターの説明員が同行し安田海岸(あんでんかいがん)での地層観察や寒風山での火山地形観察などに出かけます。雨天の場合は学習センターで安田海岸のバーチャル体験学習などができます。団体の場合は事前にご予約をお願いします。来館希望の団体はお気軽にスケジュールや学習内容などご相談ください。(写真：安田海岸での地層観察の様子)



生涯学習

日本列島・男鹿半島のできかたや生物の多様性を学ぶ

毎年、生涯学習を目的とした団体が多数来館しています。年齢層も様々で、全員が80歳以上の団体もあります。日本列島や男鹿半島のできかた、岩石の見方、植物などの多様性、防災など1時間ほどじっくり学びます。



話題の展示物

広域火山灰や、かんらん岩の顕微鏡観察

男鹿半島で見つかった広域火山灰の実体顕微鏡観察や目潟火山噴出物のかんらん岩の偏光顕微鏡観察などが来館者に人気です。火山灰と防災、かんらん岩と地球深部などについて深く考えるきっかけにもつながります。



新しい体験学習

おいしいジオ・シリーズ「軽石クッキーづくり」

軽石のできかたを学ぶ新しい体験学習「軽石クッキー」づくり。クッキーづくりを通して空隙の多いスカスカの軽い岩石がどのようにしてできるのかをみんなで考えます。

